

これまでの取り組み

「いのちを守る森づくり ～行田市から世界へ～講演会」

開催日：平成20年6月27日
場 所：「みらい」文化ホール
講 師：宮脇昭教授
入場者：約420人



「第1回いのちを守る 森づくり親子植樹祭」

実施日：平成21年7月12日
場 所：総合公園多目的
グラウンド西側
参加者：約100人

「第1回いのちを守る 森づくり親子植樹祭」

実施日：平成20年7月6日
場 所：総合公園多目的
グラウンド西側
参加者：約360人
植樹本数：約3,000本(27種類)

「第2回いのちを守る 森づくり親子植樹祭」

実施日：平成21年11月29日
場 所：総合体育館西側遊水池周辺
参加者：約400人
植樹本数：約3,100本(44種類)



「第3回いのちを守る 森づくり親子植樹祭」

実施日：平成22年11月23日
場 所：古代蓮の里北側駐車場
周辺
参加者：約260人
植樹本数：約2,230本(37種類)

「第2回いのちを守る 森づくり親子育樹祭」

実施日：平成22年8月8日
場 所：総合体育館西側遊水池周辺
参加者：約70人

森づくりの方法と効果

植樹する木は、深根性・直根性のあるシイ、タブ、カシ類の常緑広葉樹が中心で、これらは昔から行田で多く見られた樹種です。最初の3年くらいは除草が必要ですが、その後は自然に任せ、10年もすれば高木から低木までそろった立体的な森となります。これにより、環境保全・防災の機能を持ち、私たちの命を守る森が形成されるとともに、人の心を癒しストレスを緩和する効果が期待されます。

参加者の声

親子三代で参加された木村さん一家



左から木村典生さん(父)、翼くん(子)、愛さん(母)、三代子さん(祖母)、進さん(祖父)

第3回植樹祭の開催を「市報ぎょうだ」で知り、初めて参加しました。その日は5歳になった子どもの記念として、七五三の祝いを済ませてから、参加しました。少し忙しかったですが、土に触れたり木を植えたりした今回の体験は、子どもの心に残ると思うし、家族そろって参加できるイベントというのもよかったですね。

今後、植えた木を見に行くのが楽しみです。

国際シンポジウムを開催

「いのちを守る森づくり事業」を本市から世界に発信するため、「いのちを守る森づくり国際シンポジウム」を開催します。

▼日時 2月6日(日)午後1時開演

▼場所 「みらい」文化ホール

▼内容

【第1部】 宮脇昭教授らによる基調講演

【第2部】 親子植樹祭に参加した児童による作文発表

【第3部】 「都市にいのちの森を」パネルディスカッション

地球環境が破壊されている今こそ、自然環境の保全の重要性を次世代に伝える必要があります。本市では、今後も植樹祭を開催し、行田本来の自然な森づくりを進めるとともに、親子で植えた木々を見守り育てることで、豊かな人間性をもった未来を担う子供たちの育成に取り組んでいきます。

▼問い合わせ まちづくり推進課公園担当

0298-550011